

## 高円宮杯第 69 回全日本中学校英語弁論大会 開催要項

決勝予選大会 2017 年 11 月 22 日(水) 23 日(木・祝) 午前 9 時 00 分 赤坂区民ホール

決勝大会 2017 年 11 月 24 日(金) 午前 11 時 15 分 よみうりホール(有楽町)

### 【 目 的 】

本大会は、国際性豊かな青少年を育てるために、国際語である英語を熟達させるとともに、広くその普及を図り、日本文化の発展ならびに国際親善に寄与することを目的とする。

### 【 実 施 要 項 】

各都道府県の大会主催者が、まず都道府県大会(以下県大会と称す)を実施する。この県大会で選ばれた代表が東京での決勝予選大会(11 月 22 日、23 日)及び決勝大会(11 月 24 日)(以下あわせて中央大会と称す)に臨み、高円宮杯を目指す。

### 【 都 道 府 県 大 会 】

① 県大会の期日、会場は県大会主催者の指示に従うこと。

② 参加資格 (1) 日本の中学校に在籍する生徒で、学校長が推薦した者。ただし、下記(a)～(d)に該当する者は参加できない。当該学校長は推薦の際、事実関係を確認の上、下記(a)～(d)に抵触しないことを証するものとする。

(a) 満 5 歳の誕生日以後に、通算 1 年以上または継続して 6 か月以上、英語圏(\*)に居住した者。

(b) 日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に 6 か月以上在籍したことのある者。

(c) 保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏(\*)出身の者がいる場合。

(d) 過去に本大会の中央大会にて 1 位～3 位に入賞した者。

(\*)「英語圏」とは、英語を(ア)第一言語、(イ)公用語、または(ウ)公用語に準ずる言語として使用する国・地域をいい、その一覧は以下の高円宮杯ホームページを参照のこと。

(2) 上記の条項に違反して出場した場合、失格とする。

(3) 個別事案における参加資格の有無について、最終的な判断の権限は日本学生協会(JNSA)基金に帰属する。

不明な点については、同基金高円宮杯事務局に問い合わせること。

③ 応募形式

≪ 弁論部門 ≫

(1) 別紙の高円宮杯参加申込書に弁論原稿(A4 サイズ 1 枚)2 部を添え県大会主催者へ提出すること。締切は、県大会主催者が決定する。

(2) 論題 : 自由

弁論内容は生徒自身の意見・主張を英語でまとめた未発表のものとする。ただし、今年度の高円宮杯関連大会で発表したものはこの限りではない。剽窃は厳に禁止する。引用はそれとわかる表現で明示する。これらに違反した場合、失格とする。

(3) 制限時間 : 5 分(超過した場合は減点とする)

(4) 著作権 : 都道府県代表生徒の弁論の著作権は後述する主催者に帰属する。

(5) 禁止事項 : (a) マイクなど音声機器は使用しない。

(b) 視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技は禁止する。

(c) 演壇の前及び横に出てスピーチをすることは原則禁止とする。ただし、身体的理由等でやむを得ない場合は考慮する。

(d) 上記(a)、(b)、(c)の条項に違反した場合は審査委員の合議により減点対象となる場合がある。

≪ 暗唱部門 ≫

弁論部門に準ずるものとする。ただし、応募方法、論題、制限時間等は都道府県ごとに異なるため、事前に必ず県大会主催者に問い合わせること。なお、本部門の中央大会は開催しない。

④ 賞

(1) 県大会弁論部門の上位 3 名(東京、大阪、神奈川、北海道は 5 名。愛知、福岡は 4 名)が中央大会参加資格を得る。ただし、都道府県代表(以下県代表と称す)は 1 校から 1 名とする。上位に同一校の生徒が入賞した場合、そのうち上位の者のみが中央大会参加資格を獲得し、次点の他校生徒が繰り上がって県代表となる。

(2) (1)の規定により、3 位以内に入賞しながら中央大会に出場できなかった生徒には「名誉賞」を与え、中央大会後の記念レセプションに招待する。ただし、交通費等は自己負担となる。

(3) 県大会上位入賞者に賞状を贈呈する。

## 【中央大会】

### ◆決勝予選大会◆

- ① 期 日 第1部(関東地区)=34校(6校選抜) 11月22日(水) 午前9時00分～午後1時15分  
東京、神奈川、埼玉、茨城、栃木、千葉、群馬、長野、山梨、静岡  
第2部(北部日本地区)=38校(7校選抜) 11月22日(水) 午後1時45分～午後6時20分  
北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、新潟、福島、富山、石川、福井、岐阜  
第3部(中部日本地区)=39校(7校選抜) 11月23日(木) 午前9時00分～午後1時40分  
愛知、滋賀、三重、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫、島根、鳥取、岡山、広島  
第4部(南部日本地区)=40校(7校選抜) 11月23日(木) 午後2時10分～午後6時45分  
山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、大分、佐賀、宮崎、長崎、熊本、鹿児島、沖縄
- ② 会 場 赤坂区民ホール(東京都港区赤坂 4-18-13 赤坂コミュニティーぶらざ 4階)
- ③ 参加資格 各県大会で選ばれた代表3名(1校より1名のこと)。東京、大阪、神奈川、北海道は5名。愛知、福岡は4名。
- ④ 応募方法 中央大会正式参加申込書、弁論原稿(A4サイズ1枚 手書き不可)1部を提出すること。
- ⑤ 締切期日 中央大会正式参加申込書—**道府県大会終了後1週間以内**  
弁論原稿—**10月11日(水)まで**  
(応募書類の受領後、10月下旬に中央大会の詳細を知らせる)
- ⑥ 提出先 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 **読売新聞東京本社内 高円宮杯事務局**  
**Tel 03-3217-8393** (平日 13:00-18:00)、**Fax 03-3217-8358**
- ⑦ 審査方法 3つの観点(内容、英語力、表現)から審査する。特に内容を重視する。
- ⑧ 中央大会参加費用 県代表生徒の往復交通費、宿泊費は規定に基づき主催者が補助する。

### ◆決勝大会◆

- ① 期 日 2017年11月24日(金) 午前11時15分～午後3時15分
- ② 会 場 よみうりホール(東京都千代田区有楽町1-11-1 [JR有楽町駅前 読売会館7階])
- ③ 参加資格 決勝予選大会各部より選抜された27名。
- ④ 審査方法 決勝予選大会に準ずる。

### 【決勝大会の表彰】

- 1 位 高 円 宮 杯 ▶①読売新聞社「学校表彰状」▶②JNSA基金「個人表彰状」▶③記念メダル  
▶④「三菱商事賞」英国夏期研修派遣  
▶⑤「国際ソロプチミスト東京-東賞」賞状と副賞  
▶⑥「日本IBM賞」賞状と副賞  
▶⑦「キングジム賞」賞品  
▶⑧「セイコーウォッチ賞」賞品  
▶⑨「ぺんてる賞」賞状と副賞  
▶⑩ The Japan News 1年分贈呈(学校)
- 2 位 読 売 新 聞 社 杯 ▶①～⑩
- 3 位 J N S A 基 金 杯 ▶①～⑩
- 4 位 The Japan News 杯 ▶①～③、⑧、⑨、The Japan News 6か月分贈呈(学校)
- 5位～7位 読 売 新 聞 社 杯 ▶①～③、⑧、⑨、The Japan News 6か月分贈呈(学校)
- 8位～27位 記 念 メ ダ ル 及 び 副 賞 ▶③、⑨、The Japan News 3か月分贈呈(学校)
- ワ ー ル ド ・ フ ァ ミ リ ー 賞 決勝大会で「人とのつながり」をテーマに、優秀な弁論を行った生徒若干名に賞状と副賞を贈呈する。

アイルランド・日本外交関係樹立60周年記念アイルランド大使館賞 アイルランド夏期研修派遣(詳細未定)

※賞は諸事情により変更となる可能性がある。

- 主 催 読売新聞社、日本学生協会(JNSA)基金
- 後 援 外務省、文部科学省、NHK、都道府県教育委員会、都道府県英語教育団体
- 協 賛 日本IBM、三菱商事、ぺんてる、ワールド・ファミリー、国際ソロプチミスト東京-東、ECC
- 協 力 キングジム、ニューウェル・ラバーメイド・ジャパン(パーカーペン)、研究社、美術出版サービスセンター、セイコーウォッチ、日本マクドナルド、アート印刷、富士フィルムグローバルグラフィックスシステムズ、森永乳業
- レセプション協力 日本コカ・コーラ、山崎製パン、ロッテアイス、帝国ホテル

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1

読売新聞東京本社内  
高円宮杯事務局

Tel 03-3217-8393

Fax 03-3217-8358

E-Mail takamado\_general@jnsafund.org

URL <http://www.jnsafund.org>